



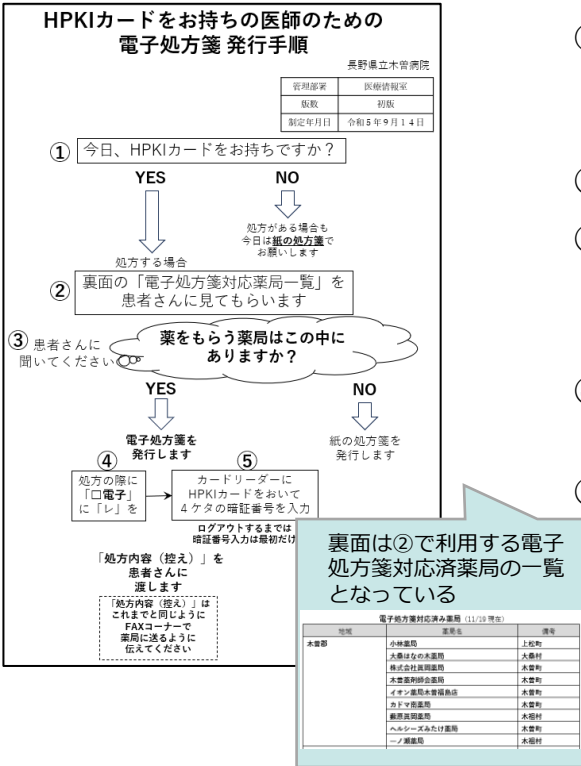
# 紙の処方箋と同じ運用をすることで 高齢者を含めた全ての患者が円滑に電子処方箋への移行を実現！

## POINT:診察時に利用薬局を確認、薬局へ紙処方箋と同じ流れで処方内容(控え)を送付！

病院と周辺薬局が一丸となって環境を整えた上で、電子処方箋の処方内容（控え）を、紙処方箋と同様に対応薬局にFAX等で送付してもらうことで、患者の負担を抑えて電子処方箋への移行を実施。

【参考】長野県立木曽病院（長野県）

### 病院独自の電子処方箋発行手順書



### 医師向け 診察時の電子処方箋発行手順

- 顔認証付きカードリーダーにおける処方箋発行形態選択画面の選択内容にかかわらず、HPKIカードを持つ医師は診察室で②以降の手順に従い患者に確認するように依頼。
- 診察時に患者に電子処方箋対応済み薬局の一覧表を見せる。
- 利用予定の薬局（※）が中にあるかを患者に確認する。  
※木曽病院では、あらかじめ周辺薬局に働きかけを行い、  
令和5年11月時点でその9割が運用開始という状況を作っている
- 電子処方箋対応薬局を利用する患者には、原則として電子処方箋を発行する。
- 処方内容（控え）は、従来どおり利用予定の薬局にFAX等で送付するよう案内。

周辺薬局の皆様にもご協力しながら、患者さんが電子処方箋を確実に利用できる環境を整えています。

**環境さえ整えば、患者さんが電子処方箋を利用することは難しくありません。**



院長 濱野 英明さん

患者が紙処方箋と同じ流れで電子処方箋による調剤を受けられるため、スムーズに電子処方箋に移行を実現！

地域で連携して電子処方箋を導入・運用することで、患者は円滑に電子処方箋に移行することができます。